

弥陀洞

弥陀洞は、山寺の上層部へと続く道沿いにある、風化した巨大な岩面です。何世紀もかけて風雪に削られ風化した岩の表面が、高さ 4.8 メートルの阿弥陀如来の姿を思わせます。阿弥陀如来の姿に見える人には、ご利益があると言われています。

阿弥陀如来の姿の岩肌にはいくつもの位牌が刻まれており、後生車と呼ばれる木製の位牌が岩肌の下に立てかけられています。後生車には、亡くなった人の戒名が刻まれており、回転する祈りのための車が付いています。車には経が書かれており、これを回すと経をあげることに相当するとされています。